

かしの木広場

富岡市地域子育て支援拠点事業・子育て通信2026年2月 NO282

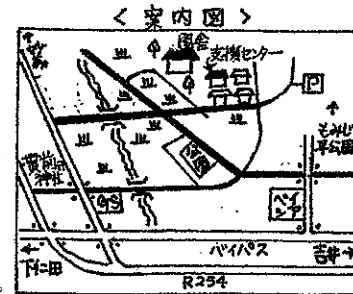
かしの木保育園
富岡市黒川 64
TEL63-4215
FAX67-1360

園庭開放
8:30~17:30 (月~金)
名簿がありすので
2階の事務所に声を
掛けて下さい。

冬の恵方巻を作ろう
(合同) (親子組)
2月3日は季節を分ける節分です。
福を巻き込むという意味が込められて
いるという恵方巻を作ってみよう。
人参、ゆず、干し椎茸、野菜を
巻いてムシャムシャ食べて
鬼と追い払いましょう。
豆入れも作ろうね。

2/6(金) 手先を使って あやほう
(合同) (親子組)
同じ動作を繰り返して楽しむ時期
多し目の協力が育つ大事な時期
楽しく遊びながら集中して指先を
使う遊びです。出来たの喜びが
自信と意欲につながります。

3月に毛刈りをした羊のワタをハシム。今では毛玉の
毛に作り。この寒さをしのいでいます。
センターの薪ストーブの前に置いてある羊の毛で作るルームシューズ
は、今の時期、見ているだけで暖かさを感じさせてくれます。
今年度、ひろばでは、毛毡、毛の味、型になる羊
羊の毛を使った製作をしました。じいちゃん
素顔の作品が出来た。作っている時も
そのものの暖かさを感じ、私達を癒して
くれました。今回はひねり人形を作りす。
ふわふわの毛が型になっていく楽しさを
ぜひ体験して下さい。



初めての園内見学希望の方
お電話下さい。
駐車場は予約専用①を
ご利用下さい。道路カーブの
路肩は駐車しないで下さい。

2/13(金) 冬野菜たぶらの うどんを作ろう
(合同) (親子組)
大根、白菜、人参、トントノ切ったり、
小麦粉をこねて、うどんを作ろう。
おいし、楽しい、感覚を育ててくれますね。

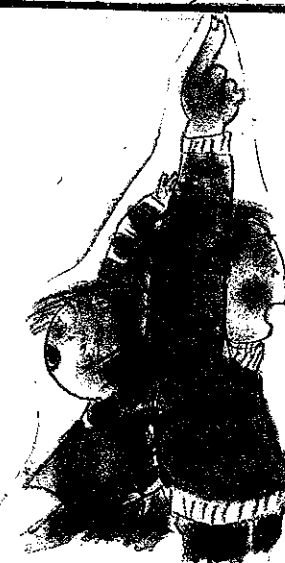
2/20(金) ひねり人形を作ろう
ミニタオルを折って縫いひもを通して作る人形です。
寝返り頃の赤ちゃんも持て遊べます。
月齢が小さくても自分でもひもを通して
作れる遊びも出来ます。
この位のミニタオルを
持参して下さい。



月	火	水	木	金
	ひろば広場 9:30~12:30 0才~	たんぽぽ広場 9:30~12:30 (午前)		たんぽぽ広場 9:30~12:30 (午後)
2	恵方巻作り (合同) (親子組) 豆入れも作ろうね。	「あやほう」 手先遊び、指遊び、リズム 製作、おやつ作り、絵本読み	5	手先を使って あやほう (合同) (親子組) 手先遊び、指遊び、リズム 製作、おやつ作り、絵本読み
9	「おうちあそび」 手先遊び、指遊び、リズム 製作、おやつ作り、絵本読み	11	12	冬野菜たぶらの うどんを作ろう (合同) (親子組) 大根、白菜、人参、トントノ切ったり、 小麦粉をこねて、うどんを作ろう。
16	ひねり人形作り (親子組)	17	19	羊毛で ひねり人形作り (合同) (親子組) ミニタオルを折って縫いひもを通して作る人形です。
23	「おうちあそび」 手先遊び、指遊び、リズム 製作、おやつ作り、絵本読み	24	26	羊毛で ひねり人形作り (合同) (親子組) ミニタオルを折って縫いひもを通して作る人形です。

※都合により変更する場合があります。

予定していた外遊びが雨や雪の場合室内遊びとさせていただきます。
月令で曜日を決めています。どの年令でもセンターを利用して下さい。



2/20(金), 27(金) 羊毛でひねり人形作り
子ども達の大好きな羊さんの毛を使って、ひねり人形をつくりましょう。
20日(金)、27日(金)の2日間を使って仕上げます。
毛と毛が絡み合い、縮む事にし。
形が出来あがっていく楽しさを
ぜひ体験して下さい。

2/20(金) 赤ちゃん体操しよう

うたもうたいながら、お母さんの手で、赤ちゃんに触れたいく
マッセンジです。触れたいく時、発達を促すポイントがあるん
です。マッセンジの後にはふんわり遊びや絵本も楽しもうね。

お願い
マフの着用につぎましては 個々の判断にお任せ致します。
お持ちの消毒、衛生面に配慮致します。
お洗濯が、手洗い 後のタオルを持参して下さい。

どーしてきこる？

子どもとスマホ

スマホ以外の楽しみとも
たくさん出会う

長瀬美子 大阪大学



スマホ以外の楽しみとたくさん出会う

「スマホを取り上げると激しく怒り抵抗する」「スマホを渡すまで、泣いて要求する」などの子どもの行動に困った経験のある方も多いかもしれません。ルールを決めて時間を制限するなど、さまざまな対策をとっても、守ってくれないことにイライラすることがあるかと思っています。

しかし、考えてみれば、これは仕方ないことかもしれません。スマホは子どもにとって魅力的で楽しいものであり、楽しいことを知った子どもに、「もう終わり」「返さない」と言っても、楽しいことを中断される、奪われることになるので、怒ったり、泣いたりすることにつながってしまうのでしょうか。だからといって、子どもの望むままスマホを使用させるのは望ましいことではありません。そこで、「禁止する」だけではなく、「スマホ以外の楽しみと出会う」機会をつくる必要があると考えます。

スマホのコンテンツを提供する会社は、子どもにとって魅力的なものを日々開発しています。家庭や園で、それとはちがう楽しさと出会う機会を子どもに保障することが求められています。

スマホの視聴では情報は得られますが、それは子どもにとって「経験」にはなりません。「経験」は自分で働きかけて得られるものだからです。

「楽しさと出会う」のは、「どこかに出かける」といった「特別な」ことである必要はありません。散歩をする、近くの公園であそぶ、花や虫を見つめる、絵本を見るなど、日常生活の中に楽しさはたくさんあります。「スマホに慣れた子どもに、そんなことが楽しいのか？」と思うかもしれませんが、五感が育ち、感性が豊かに育つ時期の幼児にとって、新鮮な驚きや楽しさに出会うことができると思います。

園でメディアに頼らない楽しい経験をたくさんしていることも非常に重要だと考えます。身体を使ってあそぶ、自然にあふれる、何かをつくる、想像を楽しむ、ゆっくり話をするなど、各園が大切にしている保育内容を通して、楽しさ・喜びをたくさん経験できることで、スマホの楽しさが「唯一絶対のもの」ではなく、「楽しさの中の一つ」として相対化できることが必要なのだと考えます。

「誰かといっしょにする」楽しさを

散歩をする、近くの公園であそぶ、花や虫を見つめる、絵本を見るなど、日常には楽しさがたくさんあると述べましたが、それ自体が楽しいだけでなく、「誰かといっしょにする」からこそ楽しいのです。スマホの楽しさは「提供される」個人での楽しさですが、「誰かといっしょにする」活動やあそびは、共感を伴う楽しさです。

いっしょに散歩するだけでも「暑いね」「お花がキレイだね」「不思議だな」といった実感や感情が生まれます。何かを見つけたら、「これなんだろう？」「次はどうなるのかな？」といった疑問や好奇心も生まれるでしょう。

そんな時、おとなはどうしても「〇〇をさせよう」「正しいことを教えよう」とがんばってしまいがちですが、スマホを出して調べて教えようとせず、いっしょに過す、「どうしてだろうね」と共感しながら楽しむことに徹することだと思います。安全には注意しながら、子どものしたいことにつき合ってみるのいいと思います。

子どもは、自分の感情や疑問を受けとめ、共有し、ことばで返してもらおうことで、自分の感じたことを共有してくれる他者がいることを感じ、それが大きな喜びや相手への信頼につながります。

生活からスマホをなくすことはできませんし、絶対に子どもに使用させないというのも難しいかもしれません。「スマホのない時間をいっしょに楽しむ」ということから始めてみてはどうかと思います。

最後に、絵本を例に「スマホのない時間をいっしょに楽しむ」ことについて述べます。絵本は、子どもとおとなの間に「幸せな時間」を運んでくれます。金柿秀幸さんの『幸せの絵本』には、「親子の絆を確かめ合う幸せ」「愛し愛される幸せ」「友達がいる幸せ」「自分は自分でいいんだと思える幸せ」など、絵本が運んでくれるたくさんの幸せな時間が紹介されています。絵本を通して「ドキドキワクワク」「安心や安らぎ」など感情を共有することが、おとなと子どもにとっての幸せの時間となるのです。

スマホで得られるものはたくさんあります。でもスマホでは得られないものもたくさんあります。「スマホのない時間」がもたらす「幸せの時間」を子どもといっしょに楽しんでみませんか。もともと子どもがかわいくなり、もともとといっしょにいたくなる、話したくなるにちがいありません。

寒い季節になり、家の中で過ごす時間が増えたと思います。

絵本を楽しんだり、お手伝いをしてもウウウのわいいな声、少しの時間でも一緒に過ごす時間を大切にしてください。

思います。

子どもの育ちには人ひとのかかわりが必要です。